

第 79 回都市対抗野球大会要項

1. 期 日 2008年8月29日から12日間

2. 球 場 東京ドーム

3. 代表チーム 32チーム

北 海 道 1
東 北 2 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
北 信 越 1 長野・新潟・富山・福井・石川
北 関 東 2 茨城・群馬・栃木
南 関 東 2 千葉・埼玉・山梨
東 京 都 3
神 奈 川 3

[関 東] 1

※南関東3位、東京都4位、神奈川4位の3チームで予選を行い、1位チームが所属する予選地区の代表となる。

東 海 6 静岡・愛知・岐阜・三重

京 滋 奈 1 京都・滋賀・奈良

大阪・和歌山 3 大阪・和歌山

兵 庫 1

[近 畿] 1

※大阪・和歌山4位、京滋奈2位、兵庫2位の3チームで予選を行い、1位チームが所属する予選地区の代表となる。

中 国 2 岡山・広島・山口・鳥取・島根

四 国 1 香川・愛媛・徳島・高知

九 州 2 福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

(代表チーム数および予選地区は本年に限る。)

4. 出場資格

(財)日本野球連盟登録規程に則り、予選、本大会とも各地区(加盟地方団体)1次予選開始の10日前までに加盟登録を完了した加盟チーム並びに競技者登録を完了した競技者に出場資格を与える。ただし、2次予選からの地区の加盟チーム並びに競技者の登録期限は、2次予選開始の10日前とする。

5. 試合出場の制限

第1次予選において敗退した加盟チームの選手は、第2次予選の試合に出場することができない。ただし、予選規約第8項のただしがきによる場合はこの限りではない。

6. 補強選手の届け出

代表チームは、その予選地区の第1次並びに第2次予選において敗退した加盟チームから5名以内を選出し、補強選手として本大会に出場させることができる。この場合、7月17日(木)までに日本野球連盟へ届け出なければならない。

7. 出場承諾書の提出

代表チームは、本大会において試合に出場することができる全選手(補強選手を含む。)を記載した「出場承諾書」を作成し、7月17日(木)までに日本野球連盟へ届け出なければならない。なお、出場承諾書に記載する役員については別に定める。

8. 試合出場登録選手の届け出

試合に出場することができる選手は25名以内とし、毎試合ごとに競技本部へ届け出なければならない。この場合、あらかじめ提出した出場承諾書に記載されている選手に限るものとする。なお、ベンチ入りする役員(6名以内)については、別に定める。

9. 都市の推薦

出場するチームは、その所在都市を代表する意味で都市長または町長の推薦状を提出する。また、ユニフォームの右袖に都市町章を貼付する。

10. 交通費の支給

本大会に出場するチームに25名分の交通費＝チームの所在地から東京までの片道運賃（特急券共）＝を支給する。

11. 表彰

優勝チーム 黒獅子旗、連盟杯、宮原賞（以上持回り）、本田メダル、優勝エンブレム
準優勝チーム 白獅子旗（持回り）、本田メダル。
第3位の2チーム 黄獅子旗を贈る。
各地区代表チーム 第79回大会代表旗を贈る。
※優勝エンブレムは、翌年の都市対抗まで1年間にわたりユニフォームに貼付することができる。

12. 選手表彰

優秀選手選考委員会の決定によって次のとおり選手を表彰する。
橋戸賞 本大会で最も優秀なプレーを続けた最優秀選手。
久慈賞 本大会で最も敢闘した選手。
小野賞 本大会で特に顕著な活躍をしたチームまたは監督、選手。
若獅子賞 本大会で最も活躍した新人選手。
首位打者賞 4試合（打席12、打数10）以上出場して、最高打撃率を記録した選手。（同率の場合は内規による）
打撃賞 打撃面で特に活躍した選手。

13. 試合方法

トーナメント方式により優勝チームを決定する。

14. 試合組合せ

7月21日（月）午後2時より「日本教育会館一ツ橋ホール」において組み合せ抽選会を開催し、試合組合せを決定する。

15. 監督会議

7月21日（月）午前11時より「日本教育会館8階第一会議室」において監督会議を開催する。代表チームは、各2名（監督・マネージャー）が出席する。

16. 開会式

大会第一日目（8月29日）午後5時より開会式を行う。開会式に関する詳細は別途出場チームに通知する。

17. 試合規則

試合規則は、2008年度公認野球規則および社会人野球内規による。特殊の試合規則は別に定める。

18. 審判員

審判員は、本連盟が推薦する。

19. 優勝チームの派遣

優勝チームをブラジルで行われる日本人移民100周年記念事業に派遣する。